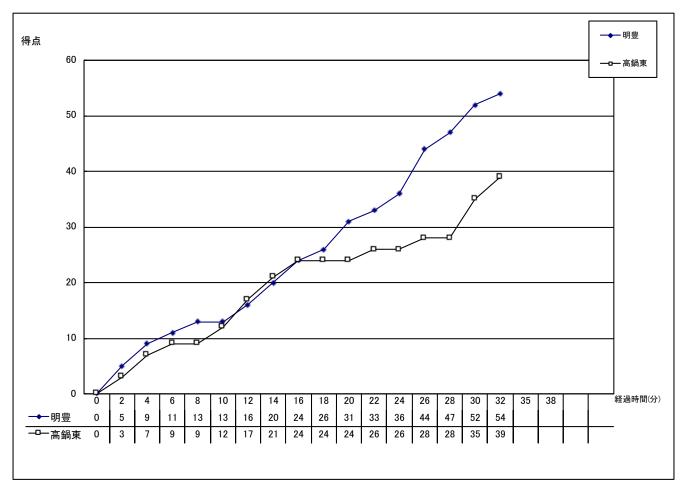
令和5年度 第53回九州中学校バスケットボール競技大会

個人データ表

男子 2回戦			2023/8/9 金城町総合体育館 山口 憲昭	副審:	Dコート 豆塚宣男		:00 開始 試合 ·郎
☆ 明豊 大分	54	13 11 12 18	1 Q 2 Q 3 Q	9 15 2 13		39	高鍋東 宮崎

		明豊												
番	号	氏名		得点	3P	3P試投	2P	2P試投	FT	FT試投	反則	DF. RE	0F. RE	RE計
	0	板井	迦穏											
0	1	植山	結斗	17	3	10	4	7			3	2		2
0	2	石田	慶二郎	7	1	3	2	5			2			
	6	工藤	文也											
	15	小橋	時空											
	21	上村	綺世斗											
0	22	福田	源輝	10		2	5	12			2		3	3
0	33	松下	凌大	10	1	3	3	5	1	1	4	2	3	Ę
0	36	小田	昂明	8			4	6			2	10	3	13
	37	安達	皇太	2		1	1	1			1	1		1
_	-チ	石田	日剛											
	É	i i	t	54	5	19	19	36	1	1	14	15	9	24
	成功率		<u>k</u>		26.	3% 52. 8%			100.0%					

高鍋東													
番	号	氏名	得点	3P	3P試投	2P	2P試投	FT	FT試投	反則	DF. RE	OF. RE	RE計
0	4	平野 春陽	3	1	1		3			2			
0	5	坂元 陽海	7	1	1	1	4	2	2			2	2
0	6	平江 陸馬	5	1	1	1	3			1	1		1
0	7	永友 海翔	15		7	3	5	9	12	1	3	3	6
0	8	廣田 光亮	7	1	2	2	4			1	5	2	7
	9	脇田 禮希	2		5	1	1				1	1	2
	10	大田 伶											
	11	中村 柊斗											
	12	横田 琉華											
	13	大山 翔大											
	14	中村 和生											
	15	横尾 来珠											
	16	黒木 博人											
	17	足達 竜耶											
	18	入村 哲平											
·	ーチ	二見 祐介											
	슫	計	39	4	17	8	20	11	14	5	10	8	18
	成 功 率			23.	5%	40.	. 0%	78.	. 6%				



≪戦評≫

10: 明豊、高鍋東ともにハーフマンツーからスタート。明豊は#36のミドルシュートで先制する。高鍋東の#8、明豊の#1の3Pが決まり序盤から点の取り合いに。その後は粘り強いディフェンスで互いに得点を伸ばせない。残り2:04、明豊11-9とリードで明豊が1回目のタイムアウト。明豊は#36にボールを集め、オフェンスの流れを作り、最後は#36のミドルシュートが決まり、13-9と明豊4点リードで10終了。

20: 高鍋東は#7のドライブからディフェンスを崩し、#6のへのキックアウトから3P、さらにドライブから得点を重ね、逆転に成功する。互いにディフェンスのプレッシャーが激しくなる中、明豊#22がキレのあるドライブ、スティールからの速攻と連続得点し逆転。残り4:06で高鍋東が1回目のタイムアウト。その後は3分間一進一退の攻防が続く。高鍋東は#4の3P、#7のフリースローでリードを3点に広げるが、残り4秒で明豊#1の3Pが決まり24-24の同点で前半終了。

30: 開始2分間互いにミスが続き得点することができない。明豊は#33にボールを集めるが高鍋東もダブルチームで対応する。しかし、明豊はインサイドから#33#2の合わせで連続得点、7点差に。残り4:22高鍋東が後半1回目のタイムアウト。タイムアウト後高鍋東は#7のミドルシュートで後半初得点を決めるが、明豊は#1のドライブ、#2の3Pで流れを渡さず、点差は10点に広がる。その後も高鍋東はオフェンスファールを誘うなど流れを掴もうとするが、明豊のディフェンスを崩せず、36-26で30が終了。

40: 明豊は攻めあぐむ中、#1の3Pを皮切りに#22のミドルシュート、スティールからの速攻で点差を広げる。高鍋東もオールコートでプレッシャーを強め、流れを掴みにかかるが、オフェンスでのターンオーバーが続き、47-28となったところで高鍋東が後半残り5:08に2回目のタイムアウト。高鍋東は#8のリバウンドシュートをきっかけに#5の3P、#9の速攻で点差を縮める。残り1:37明豊がタイムアウト。高鍋東はオールコートからダブルチームを仕掛け逆転を狙うが、明豊は落ち着いてボールをキープする。高鍋東はドライブの合わせから#7がミドルを決め、最後までディフェンスで粘りを見せるもシュートを決め切ることができず54-39で試合終了。両チームとも気持ちの入ったディフェンスで最後まで戦いぬき緊張感のあるとてもいいゲームであった。

戦評記入者 荒川龍浩 (熊本市立日吉中学校)